

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 膵切除後膵液漏の予測因子に関する検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 渡邊常太（肝胆膵・乳腺外科 講師）

【研究の目的】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科で過去に膵頭十二指腸切除術を受けた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は膵切除術の経過の改善をめざして術前術後の有効な治療方法の検討を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2001年1月より2017年12月末までに愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科で膵頭十二指腸切除術を受けた患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、病理検査データ、治療状況 等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科  
医師 渡邊常太

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 渡邊常太

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327